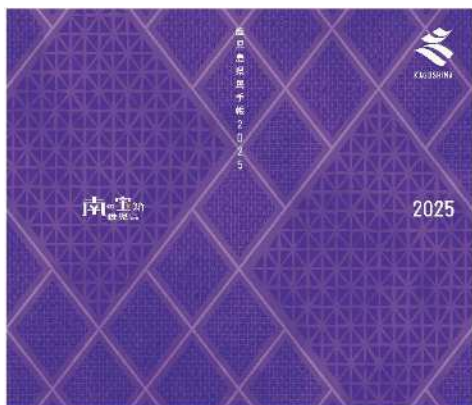


# 2025年版鹿児島県民手帳 カバーデザイン4作品の紹介

2025年版鹿児島県民手帳については、「鹿児島県の魅力を広く発信する」をコンセプトに表紙カバーとなるデザインを令和6年6月14日から7月19日にかけて募集したところ、約90作品の応募がありました。

専門家の意見を踏まえた鹿児島県統計協会における審査を経て、以下の4作品をカバーデザインに採用しています。



## エルデザインプラス 柿本 しんご

### 【作品の趣旨】

鹿児島県の伝統的工芸品でもある「薩摩切子」をモチーフとし、繊細で美しい文様を組み合わせデザイン化致しました。色も薩摩切子で使われる紫を基調とし、シンプルでありながらも年齢性別を問わず受け入れやすい雰囲気になるように設定しています。



## 特定非営利活動法人Lanka 本村 実希

### 【作品の趣旨】

かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会を大隅半島から観た風景を描きました。季節問わずキラキラと大きな花火を見れたら嬉しいなと思い手帳デザインにしました。



## 鹿児島キャリアデザイン専門学校2年 永田 虎太郎

### 【作品の趣旨】

鹿児島に馴染みのある『しろくま』を真上から見たようなデザインで、親しみやすく温かみのある、鹿児島の県民性をコンセプトとして制作しました。手帳の裏面となる部分には、言われてみれば西郷隆盛やツンにも見えなくもない『白熊の顔』をちょっとした遊び心として入れました。



## 鹿児島県立短期大学1年 直島 美結

### 【作品の趣旨】

コンセプトは「手に取りたくなる県民手帳」です。若い女性も手に取りやすいように、ポップな配色にしつつ、落ち着きと温かみを感じる装丁を目指しました。

全体に鹿児島県の特産品であるさつまいもをレイアウトすることで、親しみやすく可愛いデザインにしました。また、従来の県民手帳と同じく背表紙に25の数字を置くことで年度がすぐに分かり、機能的で使いやすくなります。

(敬称略)